

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 5 年 12 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 5 年 12 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 5 年 12 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【年末年始における人流活性化の好影響はあるものの、人手不足等の諸課題は先行き不透明感が強く、小規模企業等においては改善の実感に乏しい】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-16.9（前月-19.9、前年同月-21.8）で、前月比 3.0pt 好転した。新型コロナ 5 類移行後初の年末年始を迎え、国内外からの人流の活性化に伴い幅広い業種で好転の傾向が見られるものの、人手不足等諸課題は山積しており、小規模企業等においては業況改善の実感に乏しい。

【製造業】

業況は-13.7（前月-17.6、前年同月-15.7）と前月に比べ 3.9pt 好転した。一定の受注は確保できているものの、大手企業との人材争奪や、ダイハツ工業の不正問題に係る受注下振れ懸念もあり注視が必要である。

【建設業】

業況は-20.6（前月-20.6、前年同月-29.4）と前月比変動なしとなった。引き続き人手・資材等の不足や公共事業の低調が続いており、収益改善へ向けた動きは鈍い。

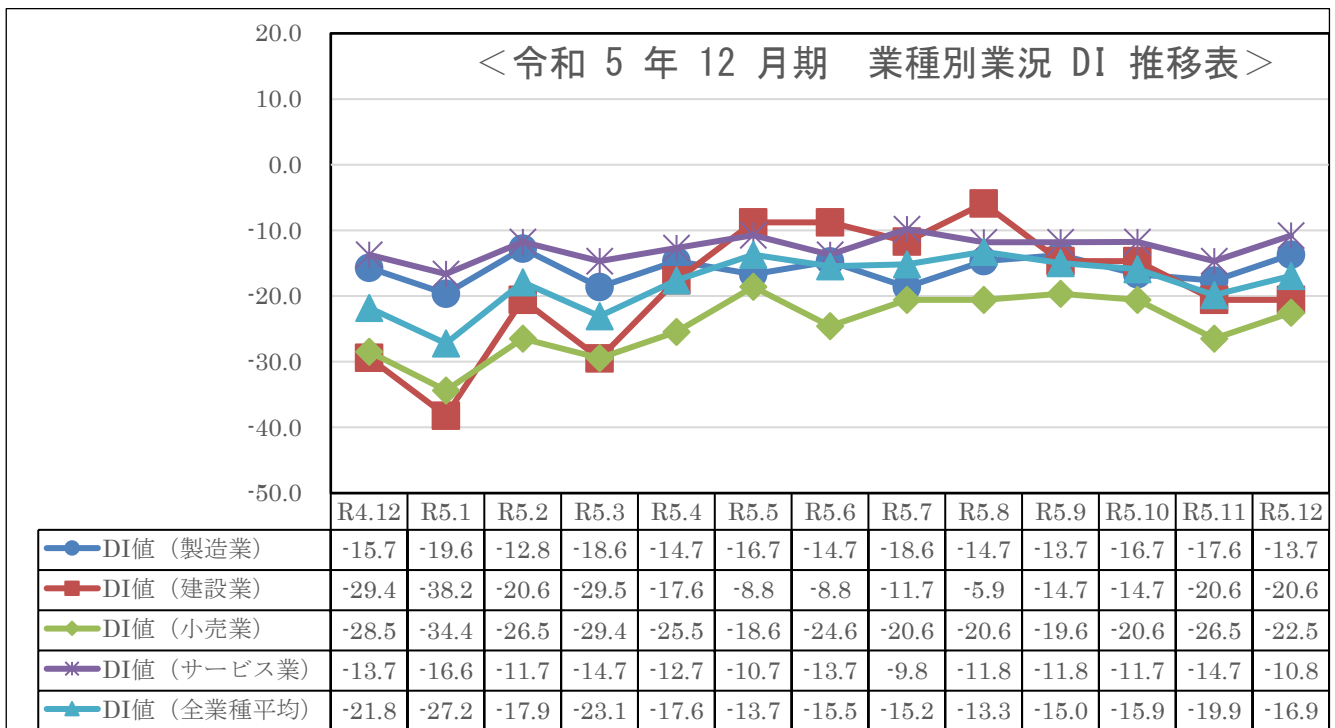
【小売業】

業況は-22.5（前月-26.5、前年同月-28.5）と前月に比べ 4.0pt 好転した。耐久消費財を中心に消費者心理は依然厳しいものの、生活必需品では年末年始に伴う需要増もあり二極化が見られる。

【サービス業】

業況は-10.8（前月-14.7、前年同月-13.7）と前月に比べ 3.9pt 好転した。年末年始の観光需要や帰省客の増加に伴い業況改善が見られるが、人手不足や諸経費高騰により利益確保は途上である。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：名波・増田〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・自動車関連業に関しては、ダイハツ工業の不正に伴う売上減少が懸念されている。（伊豆）
- ・雇用が大手企業へ流れている傾向が伺え、小規模企業等の雇用環境は厳しい。（富士駿東）
- ・食料品製造業に関しては供給不安定により一部野菜の仕入価格高騰が続いている。（中部）
- ・繊維工業では海外への輸出が減っており、減産傾向が見られる。原材料高騰が依然続いているが、価格転嫁は難しい。（中東遠）
- ・元請からの内示をみると、今後も一定の受注見込みはあるが短期では大幅な増加に至っておらず、先行きは不透明である。（西遠）

【建設業】

- ・ホテル等受注が控えているが、作業時間の制限が厳しく効率低下の不安がある。（伊豆）
- ・公共工事減少の影響を受けた事業者の声を聞く機会が増え、資金繰り確保に向けた融資相談も増えている。（富士駿東）
- ・一部建築資材が不足し、事業者の中には受注停止の動きが出る等影響が現れている。（中部）
- ・受注件数が一時的に減少し売上が落ちたが、今後回復の見込みがある。（中東遠）
- ・自家消費を目的とした太陽光発電事業の相談が増えているが、協力会社の確保に苦慮している。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

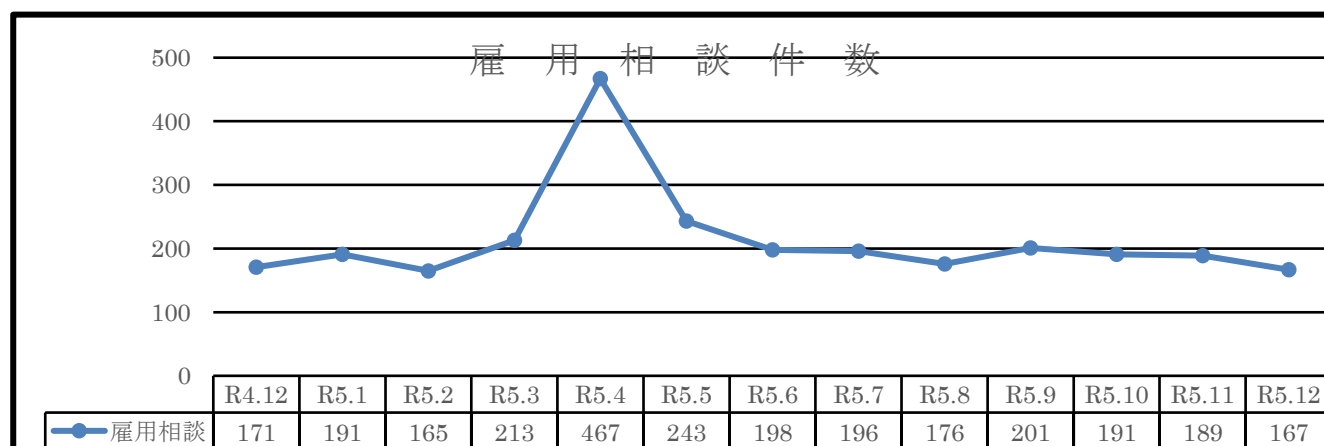
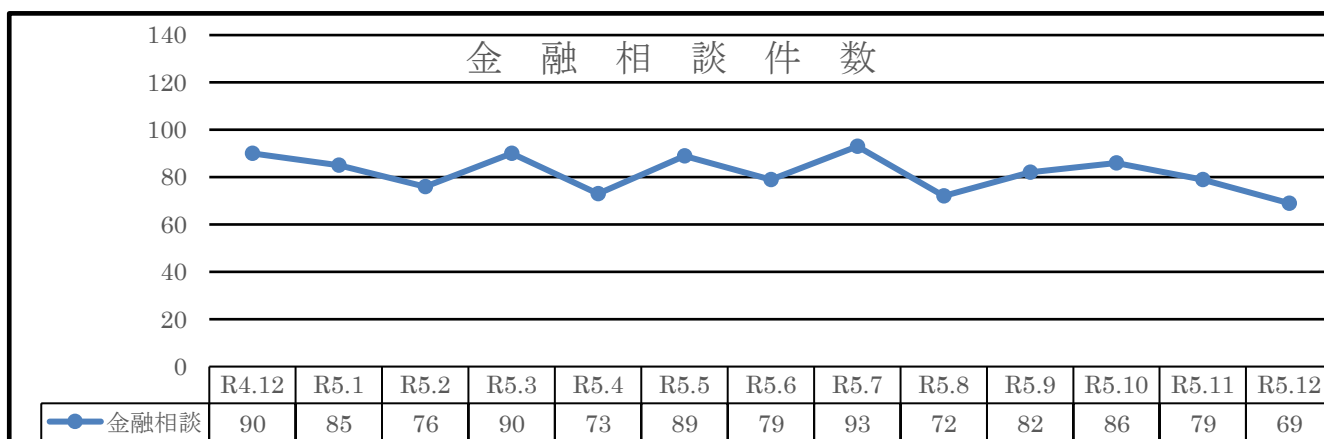
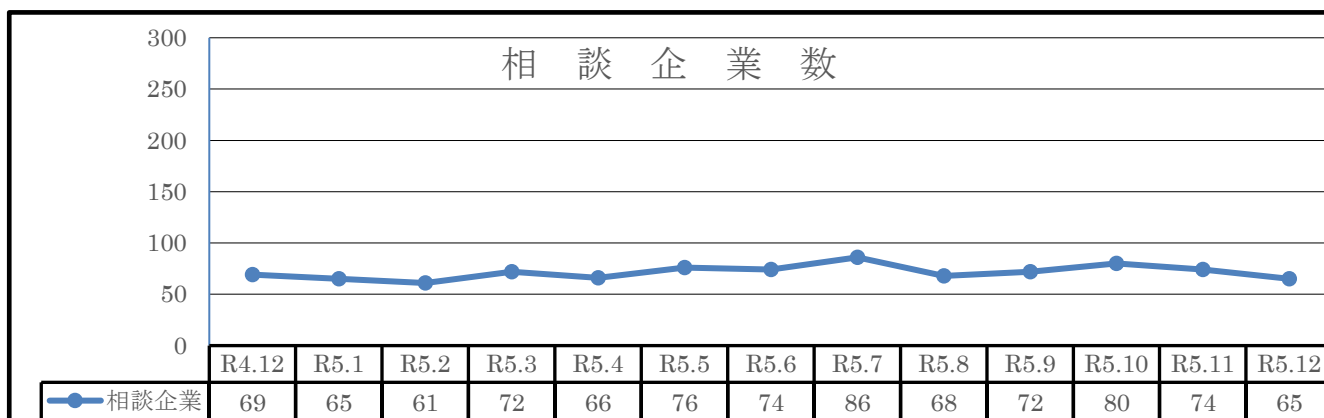
- ・家電小売業では近隣に大型量販店が開店し、需要に影響が見られている。（伊豆）
- ・食料品小売業ではグレードアップ商品を用意することで購買意欲を高め、値上げによる消費者心理の冷え込みを軽減する取組もある。（富士駿東）
- ・冬用衣類や正月用食材の売上が伸びており、概ね好調であった。（中部）
- ・ダイハツ工業の出荷停止により、車関連の販売店は対応に追われている。（中東遠）
- ・毎年初売りの際に福袋を販売していたが、仕入れ価格の上昇もあり例年並みの商品を用意できず断念した。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・洗濯業では、旅館業の好調に伴い受注が多かったが、諸経費は相変わらず高騰しているため採算改善は途上である。（伊豆）
- ・インバウンド需要は目に見えて復調しており年末の観光客も好調であった。（富士駿東）
- ・理美容業はコロナが収まり、年末年始に帰省や旅行する予定の人が増えたことにより、来客数が増加し好調だった。（中部）
- ・旅館業では年末年始の予約が好調で、軒並み満室であった様子である。（中東遠）
- ・旅館業では予約は埋まっているが、人手不足から全ての部屋を稼働することができない。求人募集をかけても人が集まらず若い人材の定着率が悪い。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和5年12月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	65	74	-9
【金融相談件数】	69	79	-10
新規融資(借換えを除く)	53	55	-2
既存債務の借換え	16	21	-5
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	0	3	-3
【雇用相談件数】	167	189	-22



【金融相談】

金融相談件数は69件と前月(79件)に比べ10件減少した。コロナ関連融資制度の縮小が進む中資金確保に向けて年末金融相談会の実施等、小規模企業等の資金繰り相談に対応した。

<経営指導員コメント>

- ・12月に融資相談会を開催し、複数の融資申し込みに至った。コロナ融資が継続しているが、要件に乗れないケースも出始めた事により、マル経の申込が増え始めている。(伊豆)
- ・年末から年明けに向けた資金確保の相談があった。建設業の方からの相談が多い印象であり、既存融資の借換に加え運転資金のパターンが多い。(富士駿東)
- ・期末運転資金の需要が増加し、新規や借換え等、多くの相談があった。(中部)
- ・12月に年末融資相談会を開催。申込多数あり。(中東遠)
- ・コロナ禍で設備投資を控えていたが、いよいよ現状の設備にも限界が来ており、買替をするための借入相談が続いた。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、167件と前月(189件)に比べ22件減少した。人手不足や最低賃金引上げへの対応に係る相談が多く、引き続き公的支援策の活用等を支援した。

<経営指導員コメント>

- ・最低賃金引き上げに伴う賃上げにより、経営に影響を感じているとの相談があった。(伊豆)
- ・12月から改定された特定最低賃金引上げに対応するため、業務改善助成金等の制度を適宜案内した。(富士駿東)
- ・キャリアアップ助成金申請に向け就業規則の整備に関する相談が増加した。(中部)
- ・人手不足、最低賃金上昇に悩む事業者が多い。(中東遠)
- ・製造業において一般の求人募集には応募が少なかったが、海外駐在の募集をした所、外国人同士の繋がりもあり驚くほどの応募があった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・12/10(日)に「河津寄って軽トラ市とテント市」を開催した。同イベントは10周年という事もあり例年以上に賑わい、過去最高となる2,000人の来場客となった。(河津町)
- ・「南伊豆グルメ&ブランド認定品ガイドマップ2024」3万部を製作発行した。(南伊豆町)
- ・12/3(日)に「第15回とい山海フェア」を開催した。特産の海産物や農産物を販売し、地域活性を図った(伊豆市)
- ・「函南ブランド」を紹介するECショップ「かんなみブランドショップ」にて函南ブランド詰め合わせセットの販売事業を実施した。(函南町)
- ・2月に町内各事業者が参加する「第4回おやまっちスタンプまつり」の実施を予定しており、準備を進めている。(小山町)
- ・12/17(日)に「森のKトラ市」を開催した。(森町)
- ・12/2(土)~12/17(日)の16日間、「2023歳末謝恩セール」を開催した。期間中参加店でお買物された方に「ゆめ宝くじ」を進呈、抽選で参加店で使える共通商品券が当たるイベントを実施し、59事業所に参加いただいた。(新居町)